

日野市立教育センター所報

教育センターだより

第27号 平成24年6月27日発行



平成24年4月19日
わかば教室 春の遠足 多摩動物公園

日野市立教育センター

〒191-0042

日野市程久保550

TEL 042-592-0505

FAX 042-592-1148

開館時間 午前8時30分
～午後5時15分



より役立ち、よりやりがいのある教育センターへ

所長 加島 俊雄

教育センターは、「教育のまち日野」の一翼を担って「調査研究」、「教員研修」、「教育相談」の3つの事業を実施し、皆様方のご支援のもと本年で9年目を迎えました。平成24年度は、「より役立つ教育センター」、「よりやりがいのある教育センター」を目標に、関係者・関係機関等とのネットワーク化を図りながら、事業のいっそうの充実に向けて所員一同力を合わせてまいります。

「調査研究」では、日野教育のシンクタンク的な役割を期待されております。本年度は、幼稚園からの参加も得て、学校現場や社会教育機関等と連携した「郷土教育」、「理科教育」の研究に継続して取り組みます。また、「ひのっ子教育21開発委員会」の研究(国語科、算数・数学科の魅力ある授業づくり)を支えます。各学校の活発な校内研究と相まって、「授業研究の日野」を推進します。

「教員研修」では、教育センターの専門スタッフの力を活かして、年々増加する若手教員について実際の授業に即した個別指導を行い、授業力向上の力添えをします。本年度は特に若手教員指導のためのガイドラインを教育センターとして取りまとめる予定です。また、教育委員会が実施する教員研修が円滑に実施できるように協力していきます。

「教育相談」は、一般教育相談と「わかば教室」に分かれます。前者では電話相談、来所相談等により、悩み・課題を抱える子どもたちを専門相談員が親身になって支えていきます。後者のわかば教室では、不登校の子どもたちの学ぶ場としてeラーニングを含め、子どもたちの実情に即して学習や進路等を一緒に考え応援していきます。本年度は夏季休業中に補習期間を設けます。また、登校支援コーディネータの定着を図ります。

教育センターの事業内容については、webサイトでの紹介に加え、「教育センターだより」、「教育センター紀要」、「郷土日野指導事例」などの刊行物も発行していますので、ご一読いただければ幸いです。事業内容の詳細については教育委員会、教育センターにお問い合わせ下されば、ご案内いたします。日頃からの皆様方のご協力に深く感謝するとともに、本年度も引き続きご支援をお願い申し上げます。

I 調査研究部

調査研究部では、日野市の当面する教育課題である「理科教育推進の研究」「郷土教育推進の研究」の推進、日野市教育委員会事業「ひのっ子教育21開発委員会研究」の支援を関係機関のご協力の下、進めています。以下、年間計画のあらましをお知らせします。

1 理科教育推進の研究（理科教育推進研究委員会）

教科等教育係

ひのっ子の意欲を高める理科授業を目指して

研究テーマを「ひのっ子の意欲を高める理科教育の展開」とし、子どもが意欲を持って理科の授業に取り組む姿を目指して、学校・教員をサポートする「理科支援センター」のあり方について実践研究する。また、授業実践を通し日野の自然についての教材化を推進する。

（１）研究の目的

①学校・教員が行う理科教育への「理科支援センター」のサポートの在り方を明確にする。

- ・理科学習における学校や教員への支援
- ・理科実験室の整備と充実
- ・コア・サイエンス・ティーチャー（CST）や外部の諸機関を活用した研修
- ・デジタル教材等、ICTを活用した授業の推進
- ・科学技術振興機構の事業の推進

コア・サイエンス・ティーチャー（CST）事業、理科支援員等配置事業

②日野の自然の教材化を、実践を通して進め、その普及に努める。

- ・日野の自然の掘り起こしと教材化の推進
- ・授業実践を通しての各学校への普及と活用の推進
- ・外部の諸機関等との連携

（２）研究の方法

①学校や教員の理科学習を支援するための「理科支援センター」の在り方を検討する。

②教員の授業力向上を目指した研修の実施について検討する。

③諸機関と連携し、日野の自然の教材化について検討する。

（３）組織・運営

委員長・副委員長：小・中学校校長会代表者

委員：小・中学校副校長会代表者、理科教育の有識者、CST 専属理科支援員、CST、
小・中教研理科部長、指導主事、教育センター所員

（４）活動日程

①理科教育推進研究委員会・・・年間5回を予定

②研修会等

4月24日(火)午後：「昆虫が苦手な先生のための昆虫教室」多摩動物公園

7月4日(水)午後：小・中連携の理科授業(小学校の授業)

7月27日(金)全日：理科実技研修(午前・小学校教諭対象の初任研)

8月1日(水)全日：理科実技研修・富士電機株式会社

8月21日(火)全日：昆虫スキルアップ研修・多摩動物公園

9月12日(水)午後：小・中連携の理科授業(中学校の授業)

2学期に実施予定：「日野の生きもの」を活用した授業

冬季休業中を予定：「電気の利用」研修会 日本電機工業会・教育センター

2 郷土教育推進の研究（郷土教育推進研究委員会）

ふるさと教育係

～日野の歴史・自然・文化・産業・人を授業で活用する～

日野市は「緑と清流のまち 日野」「新選組のふるさと 日野」「芸術・文化の薫るまち 日野」「教育のまち 日野」等のキャッチフレーズがあります。このキャッチフレーズは、豊かな歴史・自然・文化、そして人材に恵まれた日野市の特色を的確に表現しています。この日野で生まれ育ったことを自信と誇りにできる日野を愛する「ひのっ子」を育成し、将来の日野を背負って立つ「日野人」の育成へとつなげていくことが「教育の町 日野」の大きな課題となっています。

郷土教育推進研究委員会では、以上の課題を受けて、郷土の特色やよさを知り、郷土に対する誇りと愛着をもった「ひのっ子」の育成に取り組んでいます。研究の成果を毎年、「郷土日野」指導事例集としてまとめ発行しています。現在第7集まで発行しています。日野市立教育センターのホームページで見られますので、是非一度開いて下さい。今後、郷土教材が、ますます幼稚園、小・中学校の授業に活かされるとともに、家庭でも教材とした地域を訪ね、家族で日野のよさを再発見していただけることを心より願っています。今年度は「役に立つ郷土教育」「やりがいのある郷土教育」を合言葉に、皆様の期待に沿えるようさらに努力いたします。

（１）目 的

- ①郷土日野の歴史・自然・文化・産業・人に親しみ、郷土の特色やよさを知り、郷土に対する誇りと愛着をもった「ひのっ子」を育成する。
- ②「郷土日野」指導事例第8集を作成し、その成果を各幼稚園・小・中学校や各博物館・図書館等の関係機関で積極的に活用されるよう普及・啓発活動を進める。
- ③教職員対象の研修会で郷土のフィールドワークや実践事例の発表会を実施し、郷土教育を実践できる指導力ある教員を育成する。

（２）内容・方法

- ①日々の授業で活用できる郷土教材を収集・開発する。
- ②各幼稚園・小・中学校で実践できる指導計画を作成し授業実践を行う。
- ③教職員対象のフィールドワークや実践事例発表会を開催する。
- ④以上の実践は、博物館・図書館・公民館等生涯学習関係機関と連携・協力して行う。
- ⑤郷土教材や実践事例を「郷土日野」指導事例第8集にまとめる。
- ⑥「郷土日野」指導事例第8集を電子データ（PDF）化し、ホームページに掲載する。

（３）組織・運営

○委員長 日野第一小学校長 中島和夫

○副委員長 日野第二小学校副校長 秋田克己

○委 員 第二幼稚園 渥海知子 第五幼稚園 福田靖実 日野第一小学校 馬島誠
日野第二小学校 吉原涼子 日野第二小学校 瀬川敦 日野第五小学校 亀田貴彦
潤徳小学校 入野祐子 日野第八小学校 萩原農 仲田小学校 森田誠司
七生緑小学校 小坂克信 郷土資料館 中山弘樹
新選組のふるさと歴史館 金野啓史 中央図書館 星まゆみ
学識経験者 會田満、吉野美智子

○事務局 市教育委員会指導主事 加藤ユカ 市立教育センター所員 小杉博司（計19名）

3 ひのっ子教育 2 1 開発委員会研究

基礎調査研究係

日野市教育委員会は、日野市における学校教育の振興を図る施策の1つとして「ひのっ子教育 2 1 開発委員会」を設置しています。小・中学校から開発委員が集まり、教科・領域等の教育内容・教育方法の実践的研究を行っています。昨年度は、「小学校外国語活動と中学校英語の円滑な接続」を全体の研究テーマとし、小・中学校から開発委員が集まり、効果的な接続の在り方を追及し実践してきました。

学習指導要領は全面改訂され、小学校は平成23年4月から、中学校は平成24年4月から全面改訂され実施されています。新学習指導要領では、生きる力を育むために、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成、言語活動の充実などが求められています。この趣旨を受けて、日野市教育委員会では平成24年度主要事業、第4項目「時代の要請に応える力の育成」の達成のために、今年度のひのっ子教育 2 1 開発委員会の全体の研究テーマを、「国語科、算数・数学科における魅力ある授業づくり」とし、児童・生徒が主体的に学習活動する授業へと変える、魅力ある授業作りを追求し、その開発・研究に取り組むことになりました。

(1) 運営方針

平成23年度日野市立教育センター事業内容にある魅力ある授業づくりプロジェクトについて市内の小・中学校の開発委員が研究グループを編成し、国語科、算数・数学科における魅力ある授業モデルの開発・研究に取り組みます。

(2) 研究の内容及び方法

- ①内容 ○国語分科会のテーマ 「主体的な読み」
○算数・数学科分科会のテーマ 「ひのっ子の思考力を高める魅力ある算数・数学科の授業づくり」
- ②方法 日野市内の小・中学校から選ばれた開発委員を国語科と算数・数学科の2つのグループに分け、グループ毎に開発・研究を進める。
 - ・国語科 中学校2名、小学校6名
 - ・算数・数学科 中学校2名、小学校7名
- ③計画 一学期 講師の指導による「魅力ある授業づくり」の理念や現状と課題についての学習。模擬授業を行い、魅力ある授業のイメージをつかむ。
二学期 国語科、算数・数学科の各ブロック内の授業研究（中学校1回、小学校2回）講師を招聘し協議会で魅力ある授業の在り方を検討する。
三学期 研究発表会、研究のまとめ

(3) 委員会組織

小・中学校長会	各1名	小・中学校副校長会	各1名	
小学校	13名	中学校	4名	
担当指導主事	2名	教育センター所員（庶務）	2名	計25名

平成24年度 ひのっ子教育21開発委員会予定

月	日	曜	種別	内 容
4月	26日	木	全体会	委員・担当者自己紹介、今年度の研究推進の方針説明
			分科会	ブロックリーダー・サブリーダー選出 国語科、算数・数学科の研究テーマについて
5月	29日	木	国語科	学力調査の分析、分科会の仮テーマ決定、研究授業者の決定
	10日	木	算数・数学科	講演「魅力ある算数の授業づくり」 廣田敬一先生、研究テーマ・研究授業者決定
6月	28日	木	国語科	講演「言語活動の充実をめざす魅力ある授業づくり」 水戸部修治先生
	15日	金	算数・数学科	模範授業「思考力を高める算数の授業の在り方」 講師 黒澤俊二先生、協議会
7月	9日	月	国語科	授業研究教材「あらしの夜に」 旭が丘小3年生、協議会
			算数・数学科	提案・協議 「思考力を高める指導の工夫」
9月	20日	木	国語科	授業研究教材「せみの声」または「高瀬船」七生中3年生、協議会 講師の先生
	6日	木	算数・数学科	授業研究 日野第二中学校1年生、協議会 講師の先生
10月	16日	火	国語科	研究授業教材「お手紙」または「夕日のしずく」日野二小2年生 協議講師の先生
			算数・数学科	授業研究日野第六小6年生 協議会 講師 廣田敬一先生
11月	15日	木	国語科	授業研究教材「大造じいさんとがん」滝合小5年生、協議会、講師の先生
			算数・数学科	授業研究南平小 協議会 講師 笠井健一先生
12月	6日	木	国語科	研究のまとめ(原稿検討)
			算数・数学科	研究の概要(原稿検討)、各自の実践(原稿検討)
1月	21日	金	国語科	研究紀要の進捗管理、研究発表の打ち合わせ
			算数・数学科	研究のまとめ、研究発表にむけて
2月	7日	木	全体会	研究発表会

Ⅱ 研修部

1 教員の研修

教職員研修係

研修係担当所員は、「研修部」（専任 3 名）、「調査研究部」「相談部」（兼任 7 名）の計 10 名です。

（１）若手教員育成のための授業指導

若手教員育成のため、研修部全員が学校訪問を行ったり、グループ指導を行ったりします。これは、日野市の教員の資質向上に大きく貢献しています。

①若手教員育成研修（１年次）（小学校 26 名、中学校 24 名 計 50 名）

学校訪問を年間 3 回行い、授業観察した後、授業の進め方について気づいたことなどを個別的に指導・助言をしています。学校の要請に応じて回数を増やすこともあります。

②若手教員育成研修（２年次）（小学校 26 名、中学校 5 名 計 31 名）

各学校で年間 3 回行う研究授業の中の 1 回を担当し、授業の進め方について気づいたことなどを個別的に指導・助言をしています。

③若手教員育成研修（３年次）（小学校 29 名、中学校 7 名 計 36 名）

年間 1 回学校訪問し、授業観察をした後、授業の進め方について気づいたことなどを個別的に指導・助言をしています。

④ 2 年次・3 年次研修会

8 月 27 日(月)に、日野第一中学校で行われる予定です。この研修会では、参加教員が 1 学期に実践した授業実践を DVD ビデオ等で報告し、改善すべき課題を見つけ自らの授業改善につなげていき、魅力ある授業作りに努めています。担当所員は、研修会の指導・助言を行うと共に、若手教員が気軽に声をかけられるような関係を作り、悩みにも応えられるように努めていきます。

（２）教育委員会主催研修会への協力

研修係専任所員は、教育委員会が主催する次の研修会の会場設営や受付等を行います。

①職層に応じた研修

- ・学校組織マネジメントⅠ（校長）
- ・学校組織マネジメントⅡ（副校長）
- ・学校組織マネジメントⅢ（主幹）

②現職経験に応じた研修

- ・若手教員育成研修（１年次）
- ・若手教員育成研修（２年次）
- ・若手教員育成研修（３年次）
- ・10 年次研修

③教育課題研修

- ・評価 ・食育リーダー ・人権教育理解推進 ・ICT 活用推進 ・特別支援教育
- ・リソースルーム ・体力向上推進 ・幼・保・小連携教育等

④特別課題研修

- ・理科実技研修 ・昆虫スキルアップ研修 ・郷土教育研修 ・夏季 ICT 活用研修
- ・小学校外国語活動研修 ・幼児教育研修

⑤教科専門研修（全体会）

夏季休業中に市民会館で開催される教科専門研修（小・中学校の全教員対象）の「受講受付」「当日の受付業務」「会場案内」「プレゼンテーション機器・音響設備設置」などの運営補助を研修部全員で行っていきます。



【ICT を使って研修に励む一年次の若手教員】

Ⅲ 相談部

日野市立教育センターの相談部には、一般教育相談係と適応指導（わかば）教室運営などを行う学校生活相談係が設けられていて、教育相談事業を行っています。

1 一般教育相談

一般教育相談係

一般教育相談係は、日野市に在住する幼児・児童・生徒及び保護者や市民、教職員等からの、不登校やいじめ、その他の課題を解決するために電話相談や来室による相談等の教育相談に応じ、必要に応じて解決のための援助を行っています。

また、日野市の幼稚園・保育園・小学校・中学校や教育委員会等と連携を図り、教育相談の普及・浸透、研究・研修の推進、相談関係の施策等への協力に努めています。

（１）教育相談の実施

- ・ 知能・学業・性格・身体・性癖・進路・適性等に関する相談
- ・ 幼児・児童・生徒の生活指導についての指導・助言
- ・ 市内公立幼稚園・保育園、小学校、中学校等における学校教育相談との連携
- ・ 心身に障害のある幼児・児童・生徒の就学（園）相談への協力

（２）教育相談の外部諸機関や諸団体との連絡・情報交換

（３）研究・研修などの教育相談活動の充実に関すること

（４）センターだより、センター紀要の執筆、相談部紀要の発行

（５）学校生活相談係（適応指導教室「わかば教室」）との連携

相談方法

（１）電話による相談

①電話相談（☎０４２－５９２－１１６０）

教育相談全般に応じます。

②子どもこころの電話相談（いじめ相談）（☎０４２－５９２－２７８２）

幼児、児童、生徒、保護者、学校関係者からの相談に応じます。

（２）来室相談（予約制）

電話で日時を調整したうえで、面談や箱庭・コラージュ・プレイセラピーなど、相談者に応じた方法で相談を行います。また、相談の中で諸検査を行うこともあります。

相談時間

月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）

午前１０時～午後５時まで

相談体制

今年度は、相談員（臨床心理士）５名が曜日担当制で相談活動にあたります。

また、嘱託員１名が相談室運営にあたっています。

月・金曜日 相談員２名

火・水曜日 相談員３名

木曜日 相談員５名



2 学校生活相談

学校生活相談係・わかば教室

学校生活相談係は、学校生活における精神的な悩み、人間関係での不満、不登校や登校しぶり等、児童・生徒の環境をめぐる問題に関しての相談や支援、健全育成に関する資料提供や助言を行っています。具体的な活動は次の通りです。

(1) 相談活動

学校生活上の問題や不登校に関する相談、適応指導教室「わかば教室」に入室している児童・生徒への計画的継続的な個別面談。

(2) 「わかば教室」通室児童・生徒への指導・支援

「安心して過ごせる学びの場」づくり、学校復帰、社会的自立への援助。

(3) 登校支援

学校訪問、不登校児童・生徒の早期発見と初期対応・予防、早期解決の推進、ひきこもり傾向の児童・生徒への働きかけ。

(4) 学校・家庭・地域との連携

適応指導教室連絡会、活動状況報告の送付、保護者面談・保護者会・授業参観、通信、地域ネットワーク連絡会、スクールカウンセラー連絡会、地域を生かした体験活動。

教育センター所員3名、カウンセラー2名（週5日分）、指導員4名の9名のスタッフで気持ちを新たに業務に当たっています。「わかば教室」の学習・生活全般にわたって、学生ボランティアの協力があります。教育センター3階が学校生活相談係のフロアです。

適応指導教室「わかば教室」（連絡先 ☎ 042-592-0863 FAX 042-592-1148）

「わかば教室」では、不登校や登校をしぶる児童・生徒の支援をします。具体的には、「わかば教室」に通う子どもたちが「安心して過ごせる学びの場づくり」に努めながら、好ましい人間関係、集団への適応能力、体力、学習への意欲、基礎学力、社会性や自立心の育成を目指し、個々の状況に応じて、個別あるいは少人数による指導・支援・相談をしています。

※入室を希望される方、内容を知りたい方はお気軽にご相談ください。

◇「わかば教室」の一日



春の遠足

朝の会で始まり、学習タイム（国・社・算/数・理・英・eラーニングを中心に個に応じた学習指導）、わかばタイム（曜日毎に、図工・音楽・作文・スポーツ・栽培を実施）、ミーティング、個別面接（計画的・継続的なカウンセリング）の日程を組んで実施し、帰りの会で終わります。週1回はスタッフ全員の話し合いの時間を設け、子ども一人ひとりの状況に応じた個別計画で指導・支援に当たっています。ふれあいを大切に、特に昼休みは、毎日元気にスポーツを楽しんでいます。

◇「わかば教室」の行事

遠足、地域観察学習、誕生日会、スポーツ大会、収穫祭、お茶会、地域の奉仕活動（老人ホーム訪問等）、夏休み学習会および補習、音楽会、書初め、卒業・進級を祝う会等感動体験の重視、自らのよさや存在の大切さへの気づきの学習、定期的に行うカウンセリングで情緒を安定させ、子どもたちに自信を取り戻させていきます。

不登校児童・生徒への学習支援：e-ラーニングを実施しています

1 “わかば教室” の児童・生徒を対象とした e-ラーニング

わかば教室に通室している児童・生徒に対して、わかば教室で学習できる機会を利用し、児童・生徒の学習支援や学校復帰へのきっかけを促しています。

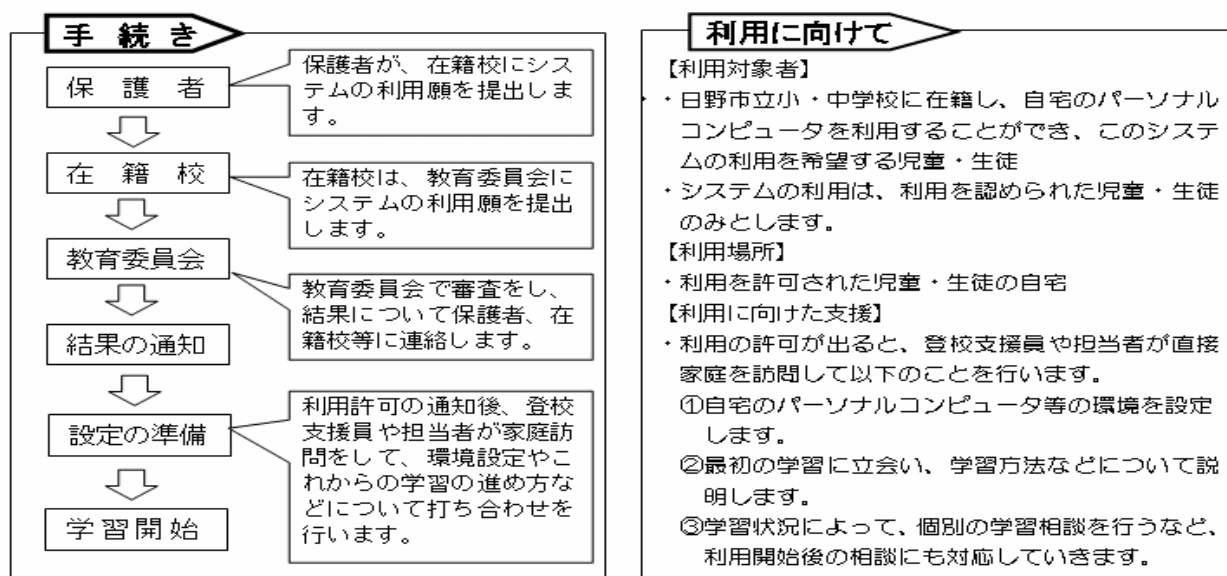
固定学習日 月曜日：学習タイム1→中学生、学習タイム2→小学生

水曜日：学習タイム1→小学生、学習タイム2→中学生

2 「在宅(家庭)」の児童・生徒を対象とした e-ラーニング

さまざまな理由から学校に登校できないなど、長期間の欠席状況にある、またはそのような傾向にある児童・生徒に対して、日野市 e-ラーニング「ひのっ子学習システム」利用の手引きに基づいて、家庭で学習できる機会を提供し、児童・生徒の学習支援や課題解決への支援を行っています。

Q：自宅で e-ラーニングを始めるには？ A：まずは、在籍校に相談してください。



登校支援コーディネータ

不登校状態にある児童・生徒の豊かな育成を目指し、学校やわかば教室、関係機関と連携を進め、学校復帰や次の成長につながる支援を行います。

- ・学校の支援(学校訪問・相談・助言・ケース会議等)
- ・不登校実態調査の実施、集約
- ・関係機関との連携(子ども家庭支援センター、特別支援教育推進チーム、発達支援センター)
- ・わかば教室・教育相談室・登校支援員(e-ラーニングを含む)との連携
- ・不登校児童・生徒の次の成長につながる居場所作り
- ・その他、登校支援にかかわる資料の作成等

教育資料・広報係より

教育センター・教育資料室のご案内

教育センターの教育資料室は、日野市内幼稚園・小学校・中学校の教員の皆さんが、日頃の教育・指導の充実、教育研究の推進に役立つようにとの目的で設置されています。市民の皆さんも利用することができます。また、教員の皆さんは、市役所内交換便による貸し出しの制度を使ってセンター外で利用することもできます。下記をご覧になり、ぜひご利用いただくようご案内いたします。

- 1 閲覧資料 総資料数 4800点
 - ・教育関係の専門図書資料 国語大辞典などの専門辞典
 - ・各社の教科書（小学校：昭和61年～、中学校：昭和56年～）
 - ・日本教育新聞、内外教育（時事通信、平成13年～）
 - ・初等教育資料（文科省）、中等教育資料（文科省）教育時報（都教育委員会）
 - ・市内小中学校の校内研究集録 郷土教育資料 日野市関係の資料
 - ・AV教材（DVD、CD-ROM、VHSビデオテープ） 他
- 2 閲覧時間 月～金曜、9時～17時
- 3 閲覧場所 センター3階図書室（2階の事務室でお声がけをしてください）
- 4 貸し出し お気軽に教育図書・資料係へご連絡ください。（教員のみ）
- 5 校務支援メール、電話による貸し出しの方法について

①各小中学校図書室のパソコンには、図書館管理システム（探調ツール：指導で通常使われるシステム）の他に、「横断検索システム」というアイコンがあります。

②「横断検索システム」を使いますと、他校の図書だけでなく、教育センターにあるほとんどの教育資料を検索することができます。

③このシステムで確認した必要な資料がありましたら、当センターの教育資料・広報係へ、校務支援メールか、電話で連絡ください。

④貸し出しの図書は交換便でお送りします。なお、交換便では、AV資料などはお送りできませんので、センターにお出でいただくか、ご依頼いただければお届けします。

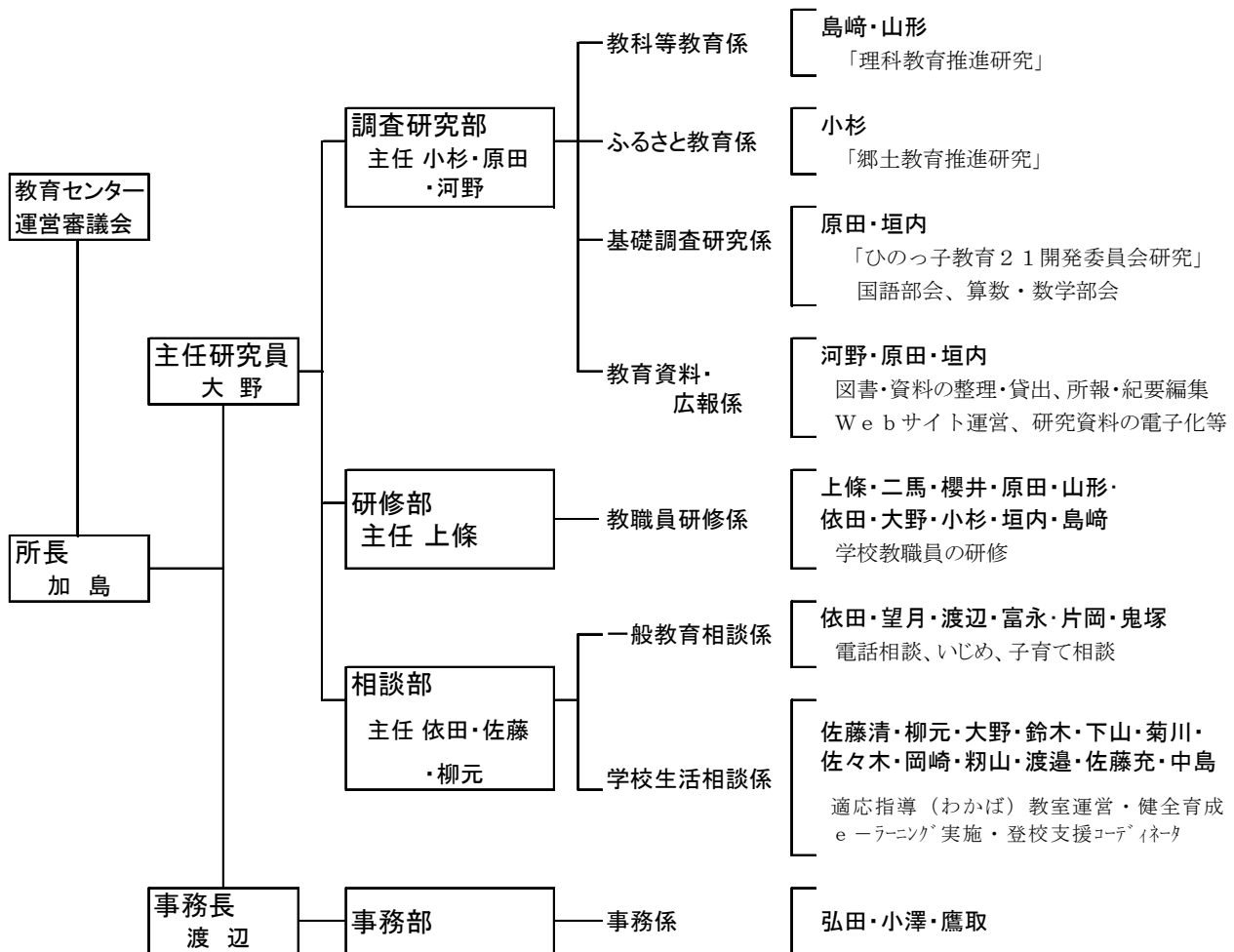


横断検索システムの画

教育センター・広報の刊行物のご案内

- ・教育センター紀要 一年間の調査研究事業、研修部、相談部で行った事業のまとめ
 - ・教育センターだより 日頃のセンター活動の状況についての広報紙。年間3回の発行
- いずれのバックナンバーを、当センターWebサイトでご覧いただくことができます。

平成24年度 教育センター組織図



教育センターWebサイトのご案内

本センターでは、広報活動の一つとしてWebサイトを開設しております。教育センターの活動の様子を画面上でご覧いただけます。今までの活動の積み重ねをPDFファイルなどで見るができます。

また、郷土教育を進めるために作成された「郷土教育指導事例」などの冊子も見ることができます。

下記のアクセスの方法から試していただき、教育センターのWebサイトをご覧いただければ幸いです。

- 1 検索サイトから「日野市立教育センター」を検索する。
- 2 「日野市役所」、または「ICT活用教育推進室」のメニューから入る。

○インターネットアドレス（u r l） www.hino-tky.ed.jp/center/

